

能(のう)をつかんとする人

吉田兼好【徒然草】より

「能(のう)をつかんとする人

”よくせざらんほどは、なまじ人に知られじ。

うちうちよく習ひ得て、さし出でたらんこそ、いと心にくからめ”

と常に言ふめれど、かく言ふ人、一芸も得ることなし。」

【現代語訳】

芸能を身につけようとする人は、

「上手に出来るようになるまでは、人に知られないようにこっそりと習って、

うまくなってから出ていったら格好いいだろう」

といつもいう。

しかし、そういう人は一つも芸が身につかない。